

**sVMS2000**

**スマートフェイス管理クライアント**

**マニュアル** (for Windows XP/2003/Win7/Win 8/Win10)

修正記録:

更新日	版本	説明
2020-02-13	V1.0.0.1	

## 目録

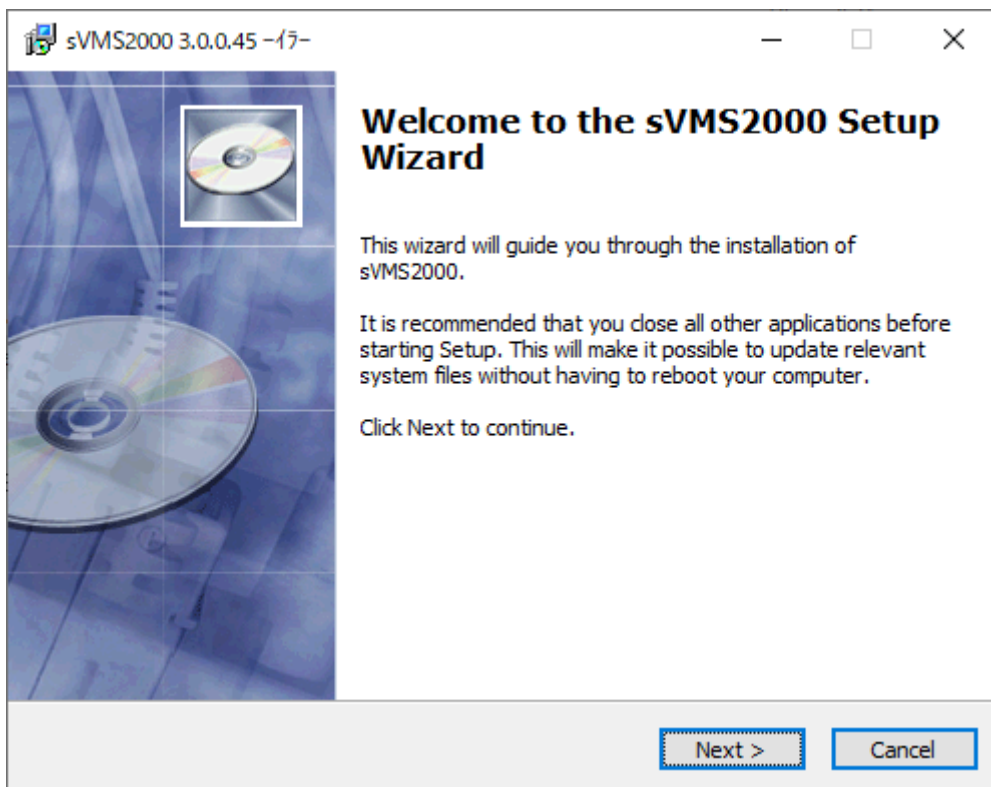
ソフトウェアのインストールと使用 .....	4
1、ソフトウェアのインストール .....	4
2、システムログイン .....	7
3、ソフトウェア初期インターフェース.....	8
4、Device Manage（デバイス接続） .....	9
5、リアルタイム表示 「Preview」 .....	11
6、デバイス構成 .....	12
7、システム設定（データ保存先、アラーム設定） .....	13
8、ログデータの確認、保存【Face Manage】 .....	15

# ソフトウェアのインストールと使用

## 1、ソフトウェアのインストール

sVMS2000 3.0.0.14.exeインストーラーをダブルクリックして、インストールウィザードを開始します。

インストール時に「Please select a language」と選択画面がでてきますので、そのまま「English」の選択で「OK」をクリックしてください。



「次へ」ボタンをクリックして次のステップに進みます；



### Choose Install Location

Choose the folder in which to install sVMS2000.



Setup will install sVMS2000 in the following folder. To install in a different folder, click Browse and select another folder. Click Next to continue.

At least 51.95 Mb of free disk space is required.

Destination folder

C:\Program Files (x86)\sVMS2000

Browse...

< Back

Next >

Cancel

プログラムはデフォルトでシステムディスクのProgram File (x86) フォルダーにインストールされます。または、[参照]ボタンをクリックしてインストールをセットアップすることもできます。

目次；

「次へ」ボタンを順番にクリックして次の操作

に入ります。

最後に「インストール」ボタンをクリックし

てインストールを開始します；

システムのインストールが完了したら、

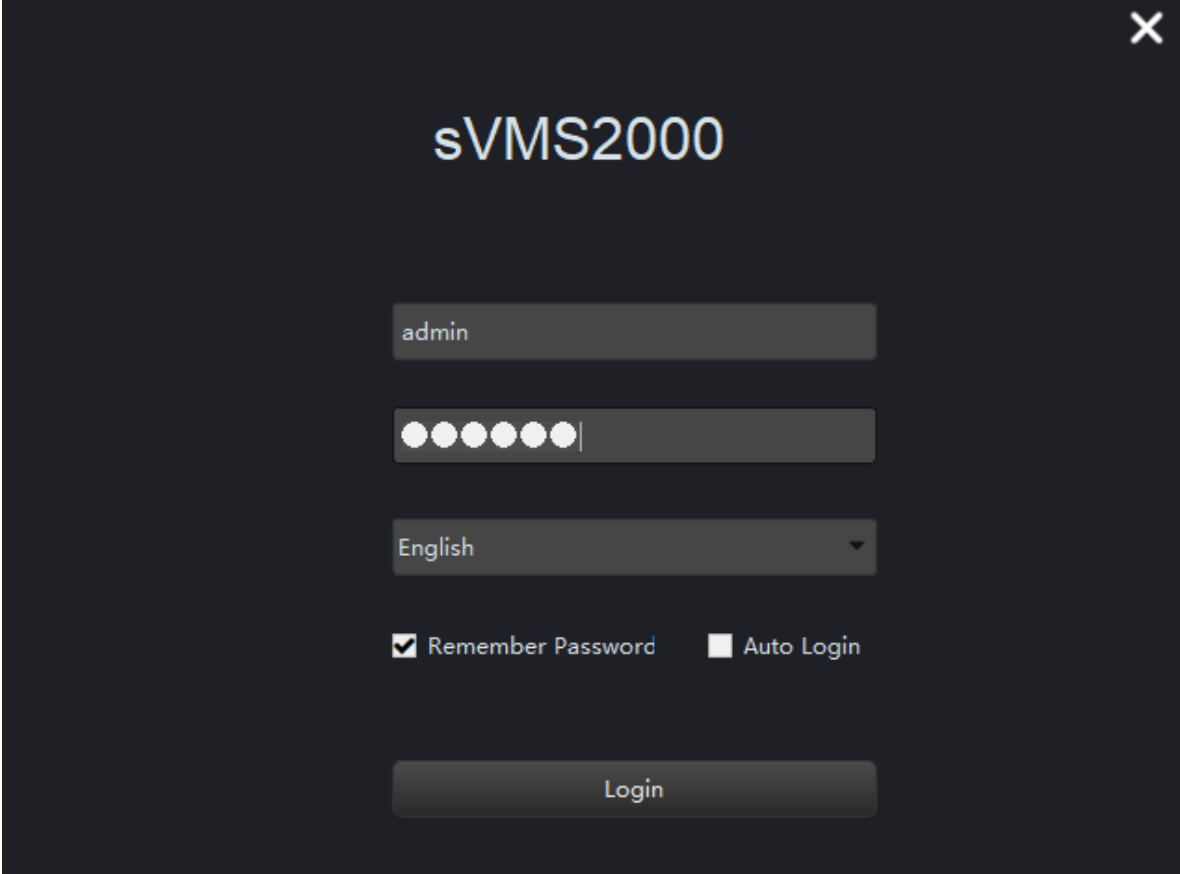
[完了]をクリックしてインストールを完了す。

注：（支持 windows 系统 XP、7、8、10）



## 2、システムログイン

ソフトを立ち上げると下記の画面が出てきますので、何も記入せず一番下の [Login] ボタンをクリックしてログインしてください。



sVMS2000

admin

●●●●●●

English

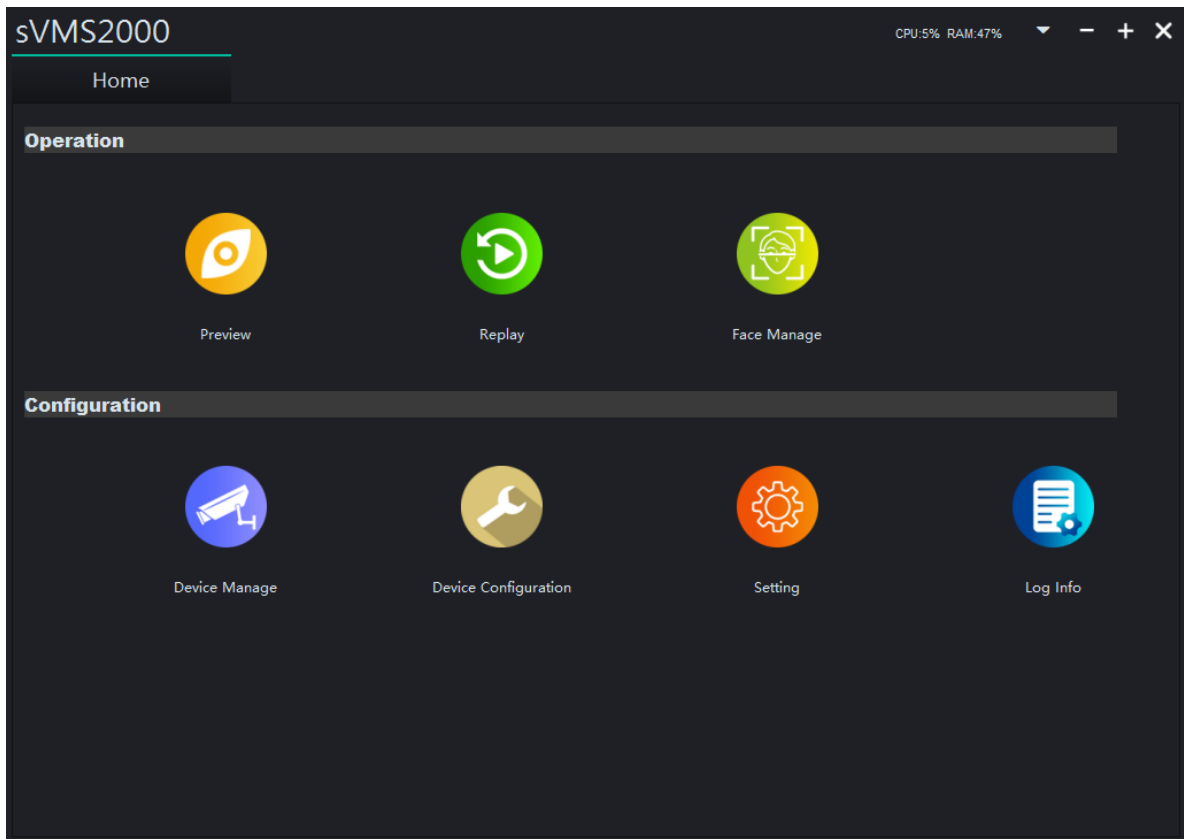
Remember Password  Auto Login

Login

**注：初期ユーザーは特権管理者です：管理者ログインパスワード：123456**

**ログイン後、ユーザーは「ユーザー管理」インターフェースでクライアント管理権限を設定できます。**

### 3、ソフトウェア初期インターフェース



ログインパスワードが成功すると、ソフトウェアのホームページインターフェイスが表示されます。ソフトウェアは、図に示すように8つの機能に分かれています。

Preview(カメラプレビュー)

Replay (ビデオ再生)

FaceManage(データログ、顔管理)

Device Manage(デバイス管理)

Device Configuration(ユーザー管理)

Setting(保存先設定 パス、アラーム、異常時表示設定)

Log Info(ログ)

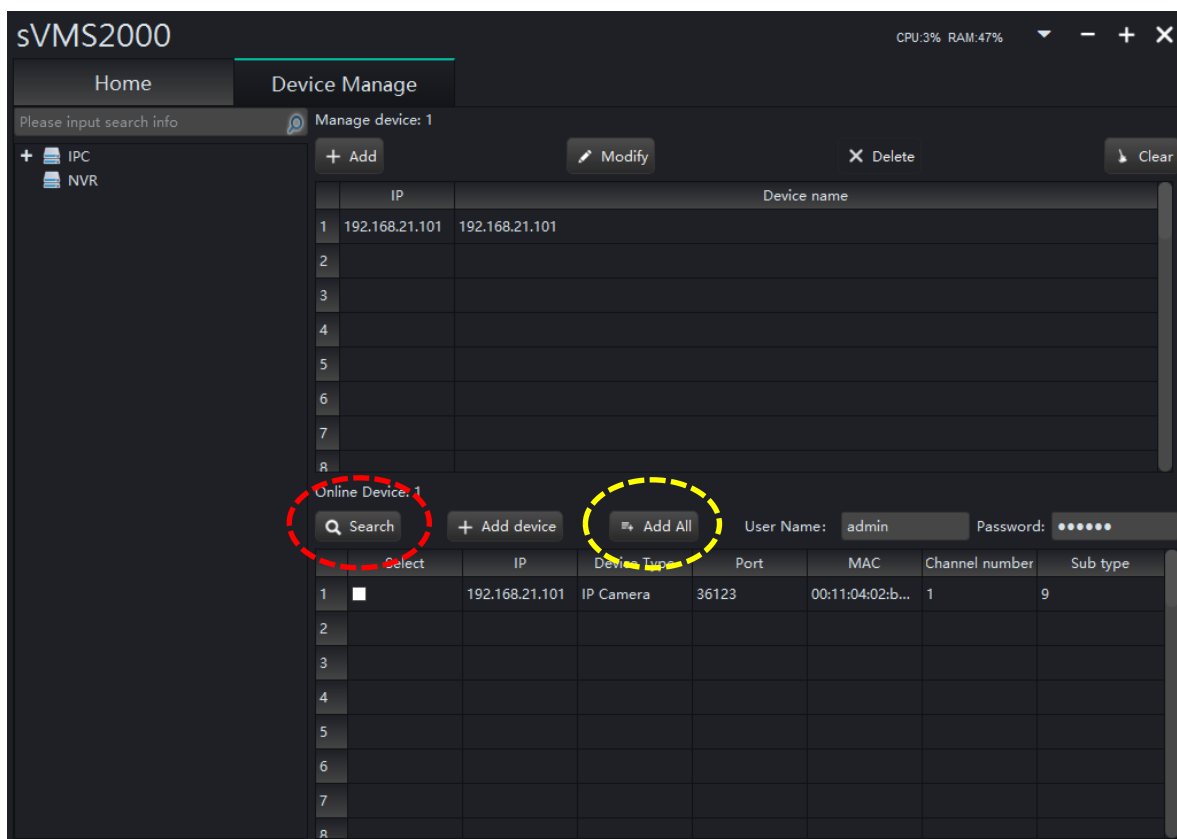
UserManage(デバイス構成)。

最初に、ユーザーは「Device Manage」をクリックしてDeviceを追加する必要があります。



## 4、Device Manage (デバイス接続)

機能メニューバーの[Device Manage]をクリックすると、図のようにデバイス管理に入ります。

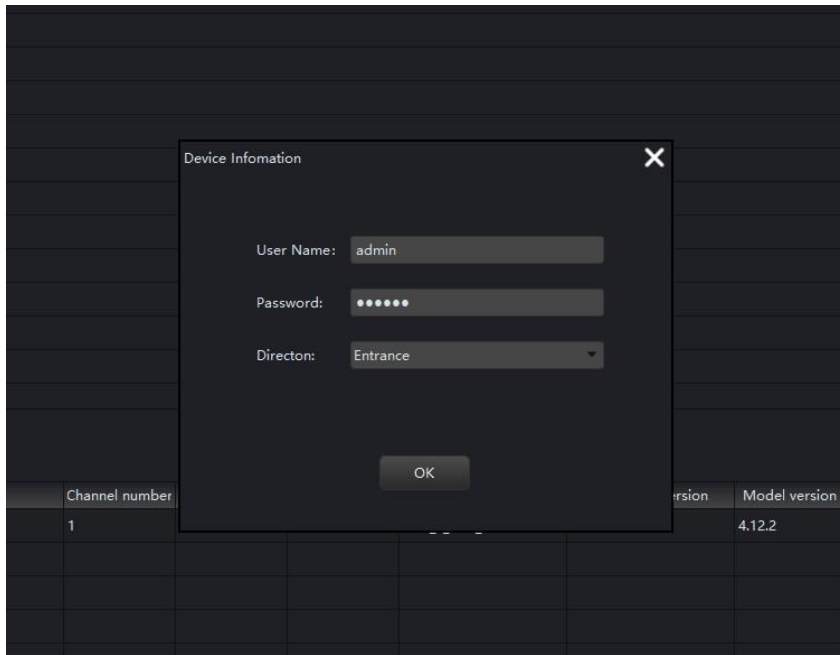


真ん中左の「Seach」(赤丸)をクリックすると接続されているDeviceが表記されます。

※Deviceが出てこない場合は、接続されていないかIPアドレス設定が間違っていますので、再度確認をお願いいたします。

Deviceが表記されているのを確認の上、表記されているすべてのDeviceを選択する場合は「Add All」をクリックしてください。

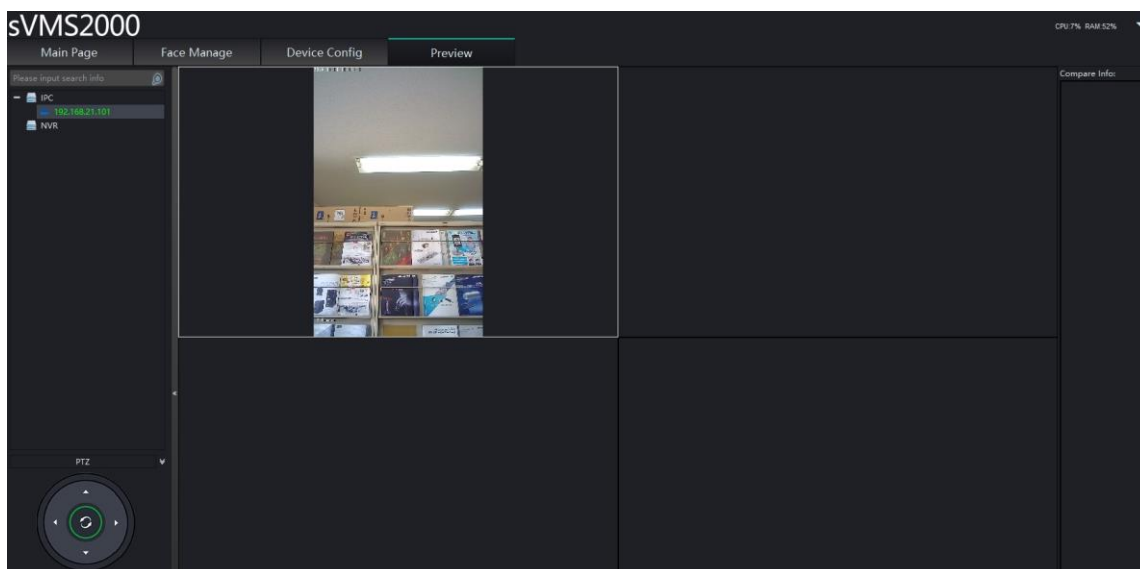
※複数台Deviceがある場合は、すべてを選択する場合は「Add All」、Deviceを選択する場合は、左の白のチェックボックスにチェックを入れて「+Add device」をクリックしてください。



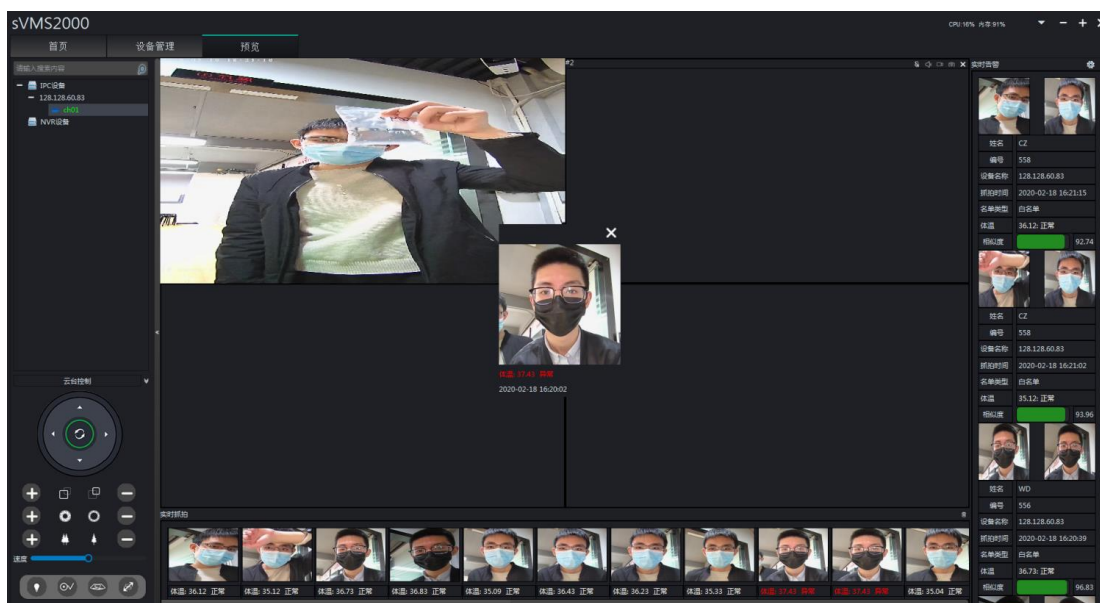
次に上記の画面になりますので、「OK」をクリックして**Device**を追加します。

## 5、リアルタイム表示「Preview」

MainPageの「Preview」をクリックすると、図のようなインターフェースが表示されます。左側のツリーの下にあるデバイスをダブルクリックし、対応するデバイスを選択（ダブルクリック）して中央のビューボックスに追加して表示します。表示は、現在写っているリアルタイムの表示になります。



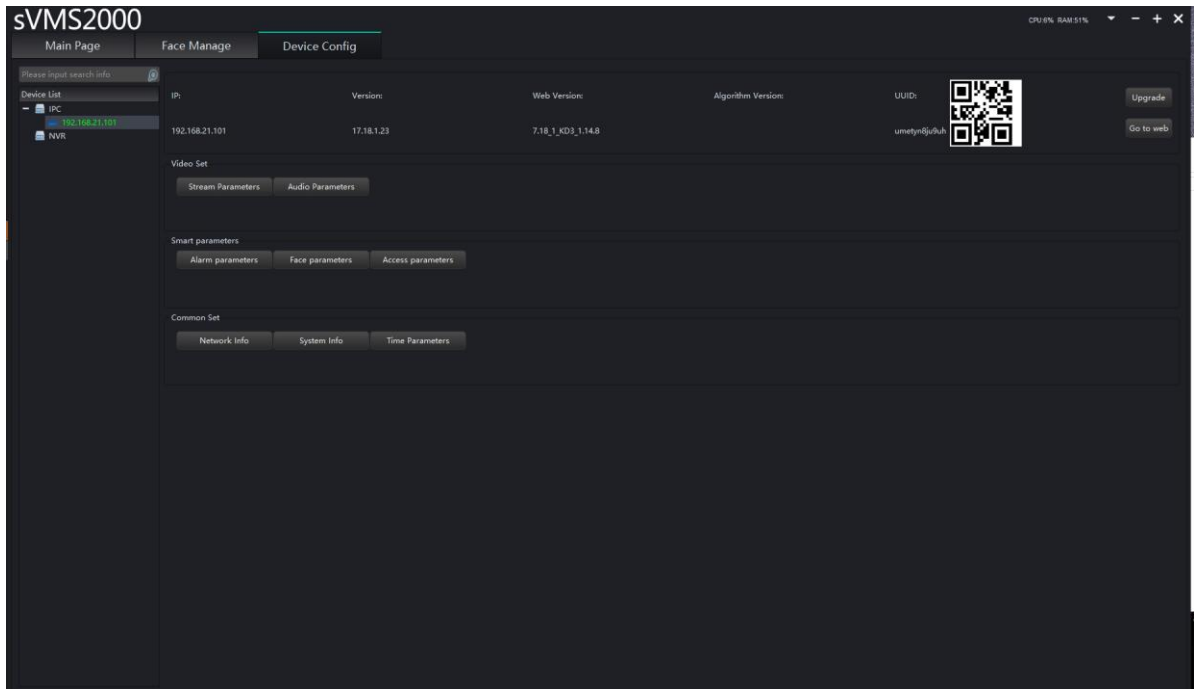
設定値以上の温度が検出された場合、ポップアップウィンドウにて表示されます。この時、1分間アラーム音が鳴ります。 ※アラーム時間の変更はできません。アラーム、ポップアップのオン、オフ設定は、Setting（システム設定）で行ってください。



## 6、デバイス構成

図に示すように、Main Pageに戻り、「Device Config」をクリックします。

確認したいDeviceを左のツリーから選択し、接続されているDeviceの確認ができます。



## 7、システム設定（データ保存先、アラーム設定）

図のようにローカル設定項目【Setting】→「Path set」を確認してください。

初期設定はすべて、Dドライブになっておりますので、Cドライブに変更してください。

Snap Path:                   d:/smp/Run/Picture   →   c:/smp/Run/Picture

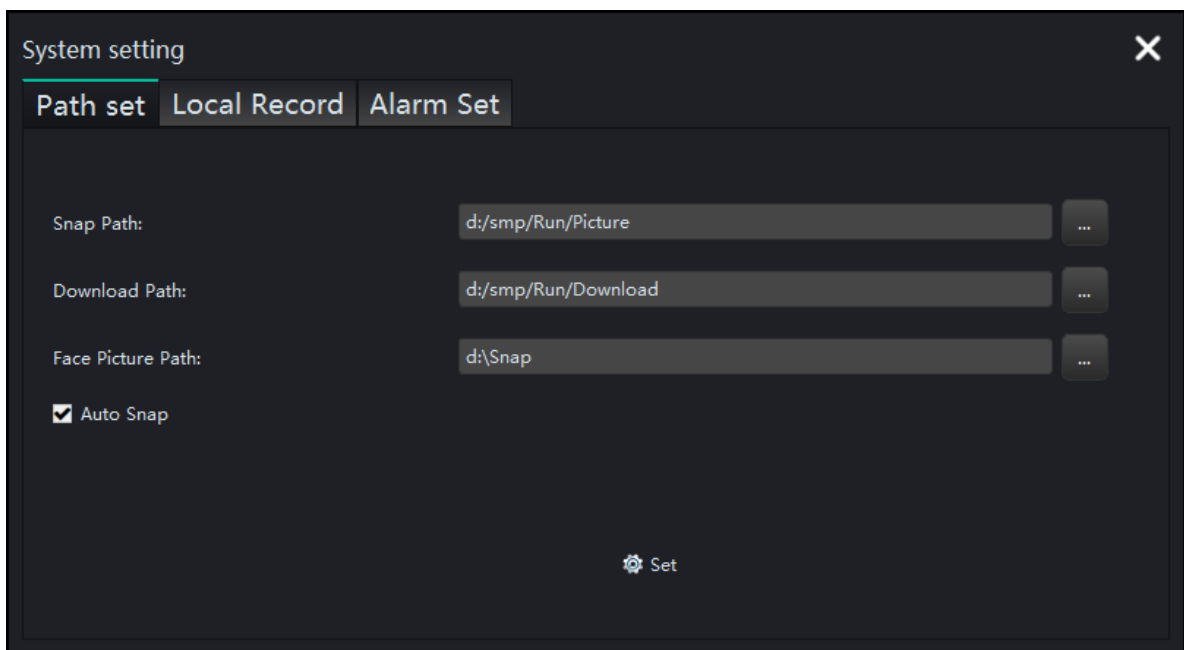
Download Path :           d:/smp/Run/Download →   c:/smp/Run/Download

Face Pocture Path :      d:/smp                   →   c:/smp

変更後は、下部にある「Set」をクリックして設定保存をしてください。

※Path setは自由に設定していただいて問題ありません。

※ただし、存在するドライブにして下さい。保存先のドライブが無い場合は保存されません

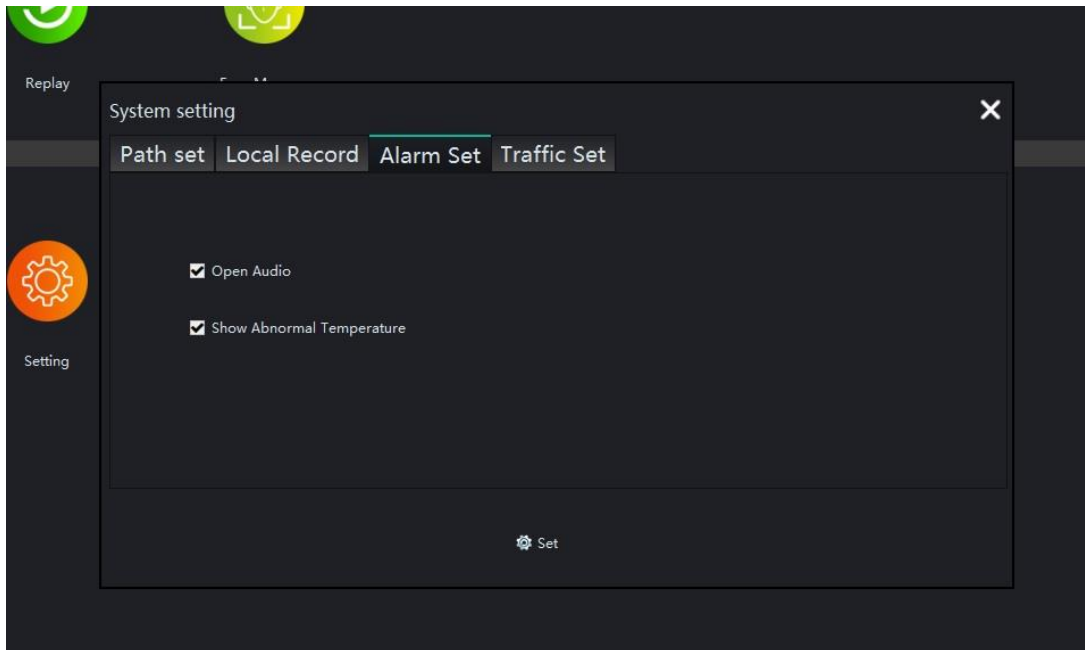


パソコン上の温度異常時のアラーム、スナップショットは下記の画面でOFFにすることができます。  
「Main Page」 → 「Setting」 → 「Alarm Set」

アラームOFF : Open Audio のチェックボックスのチェックを外す

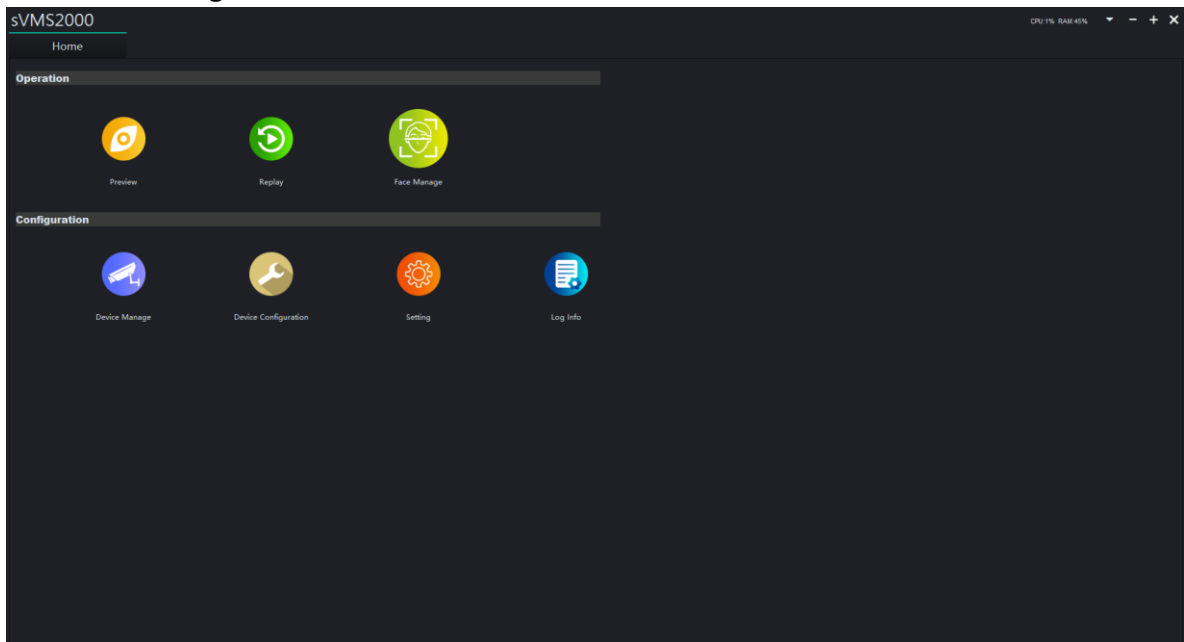
ポップアップ スナップショット OFF : Show Abnormal Temperature のチェックボックスのチェックを外す。

最後に下部の「Set」をクリックして設定完了してください。



## 8、ログデータの確認、保存【Face Manage】

「Face Manage」をクリックします。



【Recording】左側ツリーのIPC（ダブルクリック）の中で指定されたデバイス（IPアドレス）をクリックして選択し、読み出したい日付を設定し、右の「Serch」でRecordを取得してください。（条件に従ってレコードを取得します。）

※日付指定で範囲を広げるとデータが多くなり、Serch時間が長くなります。

※温度異常のみ表示させたい場合、右下のAbnormal temperatureのチェックボックスにチェックを入れると温度異常のリストのみに変わります。

ログデータをExcelデータに保存する場合は、右上の「Export」をクリックするとデータ保存できます。

